

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

心肺停止後症候群患者における体温管理療法中の内頸静脈血酸素飽和度と転機の関係
1. 研究の対象および研究対象期間 2018年4月1日から2024年7月31日までの期間、救命救急科にて体温管理療法が実施され内頸静脈血酸素飽和度測定がなされた心肺停止後症候群患者さんです。
2. 研究目的・方法 本研究の目的は心肺停止に陥った患者さんの内頸静脈血酸素飽和度が、他のモニタリング手法や神経予後予測ツールと比較してどの程度予後を予測するのに有効であるかを検討することを目的としており、過去のカルテを参照し解析します。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日までです。
4. 研究に用いる試料・情報の種類 集計された、性別、年齢、初回波形、自己心拍再開までの時間、Bystanderの有無、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰などの患者さんの背景と、SjO ₂ 、PaO ₂ 、NH ₄ 、Lac、Hb、アルブミン、pH、GCS、頭部CTなどの採血検査結果や画像検査を使用します。
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません
6. 研究組織 研究責任医師：昭和大学医学部 救急・災害医学講座（昭和大学病院 救命救急科 救命救急センター） 富田 佳賢

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学 医学部 救急・災害医学講座 氏名：富田 佳賢
住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8510